2 数列の極限 (その2)の解答例

演習 2.1 (1) r=0 のときは明らか. 以下, 0< r<1 の場合を示す. 1/r>1 だから, 1/r=1+h となる正の実数 h>0 が存在する. すると, 2 項定理により $1/r^n=(1+h)^n=1+nh+\cdots>nh$. よって $r^n<\frac{1}{nh}$ となる.

任意の $\varepsilon>0$ に対し、(アルキメデスの原理により) $\frac{1}{\varepsilon h}< N$ となる自然数 N がとれて、

$$n \ge N \Rightarrow r^n < \frac{1}{nh} \le \frac{1}{Nh} < \varepsilon.$$

よって、収束の定義により、 $\lim_{n\to\infty}r^n=0$.

(2) 仮定より, n > M + 1 であれば,

$$|a_n| \le r|a_{n-1}| \le \dots \le r^{n-M}|a_M|.$$

よって,

$$-r^{n-M}|a_M| \le a_n \le r^{n-M}|a_M|.$$

(1) と教科書の定理 7.3 より、

$$\lim_{n \to \infty} r^{n-M} |a_M| = r^{-M} |a_M| \lim_{n \to \infty} r^n = 0.$$

同様に, $\lim_{n\to\infty} -r^{n-M}|a_M|=0$ だから, 定理 7.4 (はさみうちの原理) により, $\lim_{n\to\infty} a_n=0$ を得る.

(3) r+arepsilon<1 となるような正の数 arepsilon をとり、固定する (例えば $arepsilon=rac{1-r}{2}$ とする). $\lim_{n o\infty}rac{a_{n+1}}{a_n}=r$ より、その arepsilon に対して、ある $M\in\mathbb{N}$ が存在して、

$$n \ge M \quad \Rightarrow \quad \left| \frac{a_{n+1}}{a_n} - r \right| < \varepsilon \Rightarrow -\varepsilon < \frac{a_{n+1}}{a_n} - r < \varepsilon$$

$$\Rightarrow \quad \frac{a_{n+1}}{a_n} < r + \varepsilon$$

$$\Rightarrow \quad a_{n+1} < (r + \varepsilon)a_n$$

となる. $\{a_n\}$ は正の数列で, $0 \le r+\varepsilon < 1$ だから, (2) で r を $r+\varepsilon$ に置き換えた条件が満たされている. よって, $\lim_{n\to\infty}a_n=0$.

演習 2.2 (1) $a_n=\frac{n}{2^n}$ とすると, $\frac{a_{n+1}}{a_n}=\frac{n+1}{2n}=\frac{1}{2}\left(1+\frac{1}{n}\right)$ である.教科書の定理 7.3 により,

$$\lim_{n \to \infty} \frac{a_{n+1}}{a_n} = \lim_{n \to \infty} \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{n} \right) = \frac{1}{2} \left(1 + \lim_{n \to \infty} \frac{1}{n} \right) = \frac{1}{2} (1 + 0) = \frac{1}{2}.$$

よって、演習 2.1 (3) により、 $\lim_{n\to\infty} a_n = 0$.

(2) $a_n=rac{2^n}{n!}$ とすると、 $rac{a_{n+1}}{a_n}=rac{2}{n+1}$ より、 $\lim_{n o\infty}rac{a_{n+1}}{a_n}=0$ を得る.よって、演習 2.1 (3) により、 $\lim_{n o\infty}a_n=0$.

演習 2.3 (1) a>1 のとき、 $\sqrt[n]{a}>1$ だから、 $\sqrt[n]{a}=1+h_n$ となる正の数列 $\{h_n\}$ がとれる。2 項定理より、 $a=(1+h_n)^n>nh_n$. よって、 $h_n<\frac{a}{n}$. すると、任意の $\varepsilon>0$ に対し、 $N>\frac{a}{\varepsilon}$ となる自然数 N がとれて、

$$n \ge N \Rightarrow |\sqrt[n]{a} - 1| = |h_n| < \frac{a}{n} \le \frac{a}{N} < \varepsilon.$$

よって、 $\lim_{n\to\infty} \sqrt[n]{a} = 1$.

0 < a < 1 のとき、 $\frac{1}{a} > 1$ だから、上記より、 $\lim_{n \to \infty} \sqrt[n]{\frac{1}{a}} = \lim_{n \to \infty} \frac{1}{\sqrt[n]{a}} = 1$ を得る.よって、教科書の定理 7.3 により、

$$\lim_{n \to \infty} \sqrt[n]{a} = \frac{1}{\lim_{n \to \infty} \frac{1}{\sqrt[n]{a}}} = 1.$$

(2) 任意の $\varepsilon>0$ に対し、2 項定理により、 $(1+\varepsilon)^n=1+n\varepsilon+\frac{n(n-1)}{2}\varepsilon^2+\cdots$ だから、

$$\frac{n-1}{2}\varepsilon^2 < \frac{(1+\varepsilon)^n}{n}$$

を得る. そこで, $\frac{2}{\varepsilon^2} + 1 < N$ となる自然数 N をとれば,

$$n \ge N \quad \Rightarrow \quad 1 < \frac{N-1}{2}\varepsilon^2 \le \frac{n-1}{2}\varepsilon^2 < \frac{(1+\varepsilon)^n}{n} \Rightarrow n < (1+\varepsilon)^n \Rightarrow \sqrt[n]{n} < 1+\varepsilon$$
$$\Rightarrow \quad |\sqrt[n]{n}-1| < \varepsilon$$

となる $(\sqrt[n]{n} \ge 1$ に注意). よって $\lim_{n \to \infty} \sqrt[n]{n} = 1$.